



2024年10月29日

各位

会社名 株式会社タカラトミー
代表者名 代表取締役社長 富山 彰夫
(コード番号 7867 東証プライム市場)
問い合わせ先 執行役員 連結管理本部長 廣岡 勝史
(TEL 03-5654-1548)

連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月14日に公表しました連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 110,000	百万円 9,000	百万円 8,700	百万円 6,000	円 銭 65.90
今回修正予想(B)	120,000	12,000	11,700	8,000	89.06
増減額(B-A)	10,000	3,000	3,000	2,000	—
増減率(%)	9.1	33.3	34.5	33.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	96,078	8,013	7,361	5,613	61.55

(2) 2025年3月期通期連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 230,000	百万円 20,000	百万円 19,500	百万円 12,500	円 銭 137.30
今回修正予想(B)	240,000	23,000	22,500	14,500	161.43
増減額(B-A)	10,000	3,000	3,000	2,000	—
増減率(%)	4.3	15.0	15.4	16.0	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	208,326	18,818	17,807	9,808	107.73

(3) 修正の理由

第2四半期（累計）連結業績予想の修正理由

当第2四半期（累計）会計期間における業績は、タカラトミーにおいて、「トミカ」をはじめとした定番ブランドが好調に推移し、昨年7月に日本およびアジアで展開を開始した「BEYBLADE X」が第1四半期より欧米向け輸出をスタートするなど販売が拡大しました。また、タカラトミーアーツの「ぬいぐるみ」「ガチャ」の販売が伸長するとともに、キデイランドでは、原宿店・梅田店をはじめとした旗艦店やキャラクター専門店、催事展開が好評を博すなど日本セグメントの好調が継続しました。さらに、アジアセグメントにおいても「トミカ」をはじめとした販売が堅調に推移したこともあり、売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。なお、利益面については、売上高の増加にともなう売上総利益の伸長等により、いずれも前回発表予想を上回り、第2四半期（累計）会計期間としては売上高、各段階利益ともに過去最高となる見込みです。

通期連結業績予想の修正理由

第3四半期以降におきましては、最大商戦期である年末年始商戦の動向等を精査する必要があるため、第2四半期（累計）連結業績予想の上方修正分のみを織り込んでいます。したがって売上高、利益面ともに前回発表予想を上回る見込みです。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2024年5月14日)	24円00銭	24円00銭	48円00銭
今回修正予想	28円00銭	28円00銭	56円00銭
当期実績	—	—	—
前期実績 (2024年3月期)	17円50銭	32円50銭 (普通配当24円50銭) (記念配当8円00銭)	50円00銭 (普通配当42円00銭) (記念配当8円00銭)

修正の理由

上記連結業績予想の修正に記載のとおり、第2四半期（累計）会計期間において前回発表予想に対し20億円増益となる80億円の親会社株主に帰属する中間純利益を計上する見込みとなりました。増益にともない、2024年5月14日に公表しました新しい株主還元方針のもと、2025年3月期の第2四半期末配当予想および期末配当予想をそれぞれ前回発表予想の1株当たり24円より4円増配の28円に修正することとしました。これにより1株当たりの年間配当金は56円となります。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。